

10月はピンクリボン月間

乳がん検診車 筑豊駆ける



障害者支援施設「若宮園」に検診に向いた乳がん検診車「momomo」

乳房を圧迫して乳腺料の訪問検診を行った。影をするマンモグラフィ。10月は乳がんの早期発見と、エコー(超音波検査)治療を啓発する「ピンク機」の二つの機能を備えた真内で唯一の乳がん専用検診車「momomo」が筑豊地区で活躍している。をと呼びかける。

6日は宮若市乙野の障害者支援施設「若宮園」で無料の訪問検診を行った。10月は乳がんの早期発見と、エコー(超音波検査)治療を啓発する「ピンク機」の二つの機能を備えた真内で唯一の乳がん専用検診車「momomo」が筑豊地区で活躍している。をと呼びかける。

6日は宮若市乙野の障害者支援施設「若宮園」で無料の訪問検診を行った。10月は乳がんの早期発見と、エコー(超音波検査)治療を啓発する「ピンク機」の二つの機能を備えた真内で唯一の乳がん専用検診車「momomo」が筑豊地区で活躍している。をと呼びかける。

宮若市・若宮園 障害者施設を訪問

「momomoプロジェクト」がスタートした。筑豊地区の企業・団体に年間30〜40回の訪問検診を実施。受診者がリラックスできるよう、医師や放射線技師は全て同クニニックの女性スタッフが務める。

プロジェクトは今年から、健常者よりも受診率が低くなりがちな障害者への検診の機会を増やそうと、障害者施設に向いた無料検診にも着手。この日は若宮園の敷地に

「momomoプロジェクト」がスタートした。筑豊地区の企業・団体に年間30〜40回の訪問検診を実施。受診者がリラックスできるよう、医師や放射線技師は全て同クニニックの女性スタッフが務める。

プロジェクトは今年から、健常者よりも受診率が低くなりがちな障害者への検診の機会を増やそうと、障害者施設に向いた無料検診にも着手。この日は若宮園の敷地に

高木博美医師に、乳がん検診の現状と今後の目標などを聞いた。

高木博美医師に、乳がん検診の現状と今後の目標などを聞いた。

婦人科との連携目指す

「遠方からの受診者の負担減になれば」と考え、いとこで飯塚市の医療品メーカー「クロシード」社長の辻政和さん(57)と購入。2人を中心に11年からmomomoを活用した

同園を運営する社会福祉法人若宮福祉会の渡雅が検診の啓発の一環と代理理事長は「外に出にくくして、ピンクリボンをあい入所者もあり、訪問検診は本当にありがたい」と感謝。辻さんも「障害者施設での検診は年10回が目標。活動を筑豊全域に広げたい」と話す。

開始(5枚で5250円、30枚で28000円)。収益の一部をプロジェクト活動に充てるという。

(編者行)

高木博美医師に聞く



訪問検診の狙いを語る高木博美医師

者の方の中には自分の症状に気がきにくい人も多いため、施設への訪問検診は積極的にやりたいと思います。

今後は婦人科との連携も目指します。子宮頸がんの検診を受けた女性に、「momomo」で乳がん検診も受けてもらえれば、1日で2種類のがん検診を終えることができる。受診後には友人や家族に検診の話をしてもらい、関心が高まればうれしいです。

(談)